

EPSON
EXCEED YOUR VISION

Offirio
オフイリオ プロジェクター

EasyMP Slide Converter 操作ガイド

EasyMP Slide Converterについて

EasyMP Slide Converterの概要	4
EasyMP Slide Converterで使えるファイルの種類	4
ソフトウェアのインストール	5
ソフトウェアの動作条件	5
インストールの方法	5

PowerPointファイルのシナリオ変換

PowerPointファイルの変換	7
シナリオ変換の流れ	7
メイン画面の説明	7
シナリオに変換する	8
PowerPointファイルから直接シナリオへ変換する	10
シナリオの確認と設定	12
シナリオをプレビューする	12
USBストレージにコピーする	12
シナリオを自動再生する	12
変換設定を変更する	13

付録

ソフトウェアのアンインストール	16
EasyMP Slide Converterの制限事項	17
OSによる制限	17
PowerPointによる制限	17
解像度による制限	17
その他の制限	17
困ったときに	18
EasyMP Slide Converter実行時のエラーメッセージ	18

EasyMP Slide Converterに関するトラブル	18
PowerPointファイルの右クリックメニューにFSEへ変換するが表示されない	18
シナリオに変換できない	19
シナリオが再生できない	19

一般のご注意	20
表記について	20
商標について	20

索引	21
-----------------	-----------



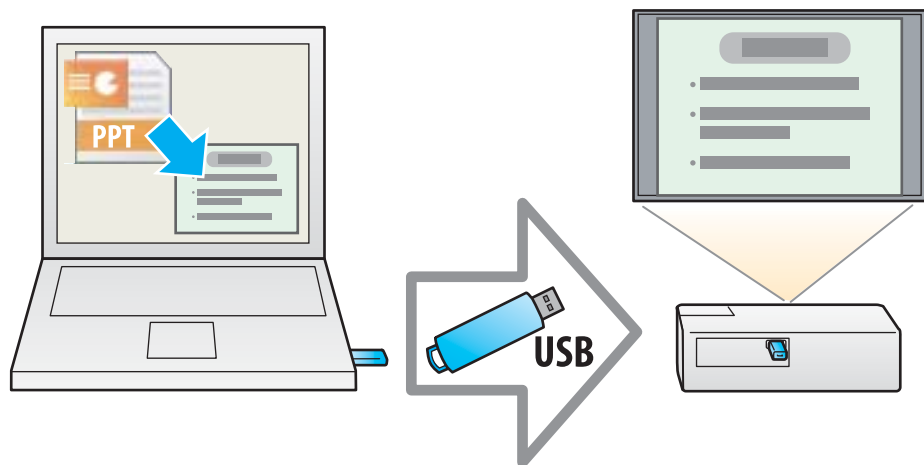
EasyMP Slide Converterについて

ここでは、EasyMP Slide Converterでのファイル変換の概要と、ソフトウェアのインストール手順を説明します。

EasyMP Slide Converterは、コンピューターを使わずにプロジェクターでスライドショーを再生することを支援するソフトウェアです。

コンピューターを使わずにスライドショーを再生するには、EasyMP Slide ConverterでPowerPoint ファイルをシナリオというファイルに変換します。

変換したシナリオをUSBストレージにコピーし、プロジェクターにセットすることでスライドショーを再生できます。シナリオは、プロジェクター本体のスライドショーまたはPC Free機能で再生します。



スライドショーまたはPC Freeの使い方について詳しくは、お使いのプロジェクターに同梱の取扱説明書をご覧ください。

EasyMP Slide Converterで使えるファイルの種類

EasyMP Slide Converterでは、Microsoft PowerPoint 2002/2003/2007で作成されたファイル(拡張子 .ppt / .pps / .pptx)をシナリオに変換できます。

変換後のシナリオは、以下の2種類があります。

FSE形式	PowerPoint ファイルのスライドショーの動作をほとんど変えることなく変換したシナリオです。
SIT形式	簡易変換したシナリオです。各スライドはJPEG形式に変換されます。 PowerPoint ファイルで設定したアニメーション効果は保持されません。

変換形式と変換方法については、以下をご覧ください。

☛ 「変換設定を変更する」 [p.13](#)

EasyMP Slide Converterは、EPSON Projector Software CD-ROMに収録されています。ソフトウェアをお使いのコンピューターにインストールしてください。

ソフトウェアの動作条件

EasyMP Slide Converterは、以下の条件を満たすコンピューターで動作します。

OS	Windows 2000 Professional Service Pack 4 以下の32ビット版OS： Windows XP Service Pack 2以降(Home Edition/ Professional) Windows Vista Service Pack 1以降(Starter Editionを除く) Windows 7
CPU	Pentium M 1.6GHz以上
メモリー容量	512MB以上
ハードディスク空き容量	50MB以上※
ディスプレイ	XGA(1024x768)以上の解像度 16ビット・32ビットフルカラーの表示色
PowerPoint	Microsoft Office PowerPoint 2002 Microsoft Office PowerPoint 2003 Microsoft Office PowerPoint 2007

※ インストール時に必要な容量です。PowerPointファイルを変換する際は、PowerPointファイルに設定されたアニメーションの種類・数によって異なります。

インストールの方法

インストールを開始する前に次の点にご留意ください。

- コンピューターにEasyMP Slide Converterをインストールするには、管理者権限が必要です。
- EasyMP Slide Converterをインストールするためには、お使いのコンピューターにPowerPoint 2002以降とVisual Basic for Applications(VBA)がインストールされている必要があります。
- 起動中のアプリケーションをすべて終了してからインストールを行ってください。

1 コンピューターの電源を入れます。

2 コンピューターにEPSON Projector Software CD-ROMをセットします。

自動的にセットアッププログラムが起動します。



自動的にセットアッププログラムが起動しないときは、[マイコンピュータ](または[コンピュータ])からCD-ROMドライブを開き、[InstallNavi]をダブルクリックします。

3 画面の指示に従って、インストールしてください。



EasyMP Slide Converterの最新バージョンは以下のWebサイトからダウンロードできます。

<http://www.epson.jp/download/>



PowerPointファイルのシナリオ変換

ここでは、PowerPointファイルをシナリオへ変換し、USBストレージにコピーする方法を説明します。

コンピューターを使わずにプロジェクターがスライドショーを再生するために、PowerPointファイルをシナリオに変換します。

シナリオ変換の流れ

シナリオへの変換は、次の流れで行います。

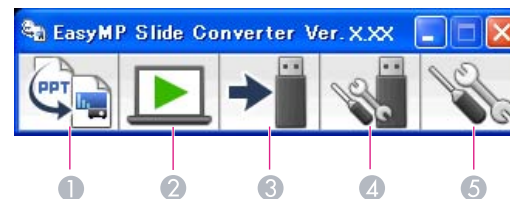
- 1** EasyMP Slide Converterを起動し、PowerPointファイルを選択します。
- 2** 設定画面で保存先、変換モード、使用するプロジェクターの解像度などを設定して、シナリオに変換します。
- 3** 変換したシナリオ(FSEファイル)をプレビューします。
- 4** コンピューターにセットしたUSBストレージにシナリオをコピーします。
- 5** シナリオの自動再生設定をします。
シナリオを作成してから自動再生の設定を変更することもできます。



- スライドの自動切替を行うときは、PowerPointの[画面切り替えのタイミング]を[自動的に切り替え]に設定する必要があります。
- セキュリティ機能が付いているUSBストレージは、使用できないことがあります。

メイン画面の説明

EasyMP Slide Converterを起動するとメイン画面が表示されます。各ボタンの働きは以下のとおりです。



	ボタン名	説明
①	変換	クリックするとファイルの選択画面が表示されます。PowerPointファイルを選択してシナリオに変換します。 ☛「シナリオに変換する」p.8
②	プレビュー	クリックするとファイルの選択画面が表示されます。変換したシナリオ(FSEファイル)を選択して、プレビューします。 ☛「シナリオをプレビューする」p.12
③	メモリーへコピー	クリックするとファイルの選択画面が表示されます。USBストレージにコピーするファイルを選択して、コピーします。 ☛「USBストレージにコピーする」p.12
④	オートラン編集	クリックするとオートラン編集画面が表示されます。シナリオの再生順や繰り返し再生の編集をします。 ☛「シナリオを自動再生する」p.12
⑤	設定	クリックすると設定画面が表示されます。ファイルの保存先、解像度、変換モードなどの設定をします。 ☛「変換設定を変更する」p.13



設定画面の[ファイルを変換後、メモリーにコピーする]が有効の場合、各設定は画面の指示に従い順を追って設定できます。

無効の場合は、メイン画面から各設定画面を開きます。

シナリオに変換する

ここでは、手順を追ってシナリオに変換する方法について説明します。



変換設定を変更する必要がないときは、PowerPointファイルから直接シナリオに変換できます。

☛ 「PowerPointファイルから直接シナリオへ変換する」 p.10

- 1 [スタート] - [プログラム] (または [すべてのプログラム]) - [EPSON Projector] - [EasyMP Slide Converter]の順に選択します。

EasyMP Slide Converterのメイン画面が表示されます。

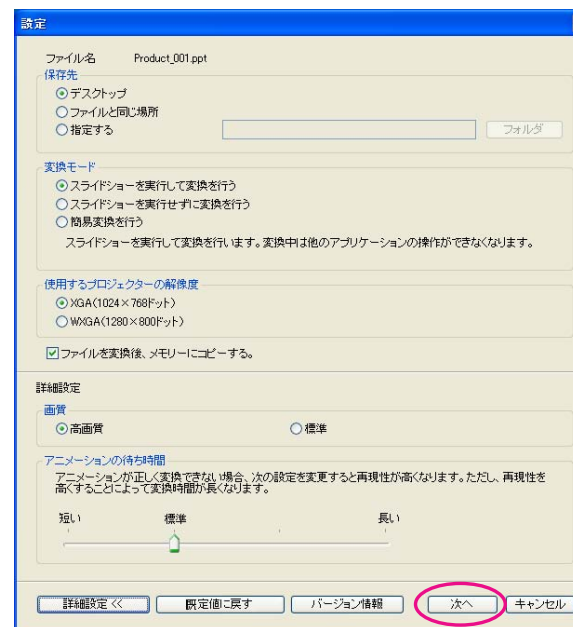
- 2 コンピューターにシナリオを保存するUSBストレージをセットします。

- 3 メイン画面の[変換]ボタンをクリックします。シナリオに変換するPowerPointファイルを選択して、[選択]をクリックします。

- 4 設定画面が表示されます。必要な設定をし、[次へ]をクリックします。

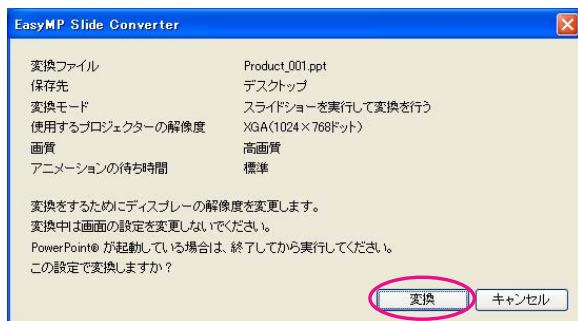
設定項目について詳しくは、以下をご覧ください。

☛ 「変換設定を変更する」 p.13



- [ファイルを変換後、メモリーにコピーする]にチェックマークが付いていないときは、設定画面は表示されず、手順5の画面が表示されます。
- 設定内容は、メイン画面の[設定]ボタンをクリックすると変更できます。

- 5 内容を確認して[変換]をクリックします。

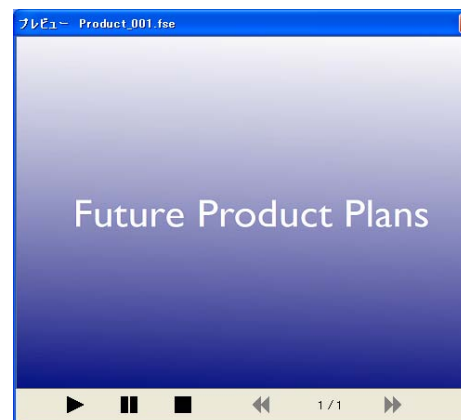


- スライドショーを実行して変換を行う場合、画面の解像度を使用するプロジェクターの解像度(XGAまたはWXGA)に合わせて自動で変更します。変換後は、元の画面の解像度に戻ります。
- PowerPointが起動していると変換処理が行われません。変換前に、PowerPointを終了してください。また、変換中にPowerPointを起動しないでください。
- 変換中に解像度の切り替えや外部モニターとの接続など、画面の設定を変更しないでください。画面の設定を変更すると、変換が中止されます。
- 設定画面の[ファイルを変換後、メモリーにコピーする]にチェックマークが付いていないときは、手順6以降の画面は表示されません。メイン画面が表示されますので、メイン画面の各ボタンからシナリオのプレビューやメモリーへコピーを実行してください。

- 6** 変換が終わるとプレビュー確認画面が表示されますので、[はい]をクリックします。プレビューをしないときは、[いいえ]をクリックして、手順7に進みます。

プレビュー画面が表示されます。各ボタンの機能は、以下をご覧ください。

- ☛ 「シナリオをプレビューする」 p.12



プレビューが終わったら、プレビュー画面を閉じてください。



Jpeg(SIT)ファイルはプレビュー機能でプレビューできません。変換モードで[簡易変換を行う]を選択したときは、プレビュー確認画面は表示されずに、コピー確認画面が表示されます。

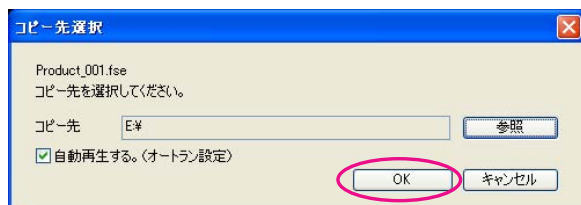
- 7** コピー確認画面が表示されますので、[はい]をクリックします。

- 8** コピー先選択画面が表示されます。[参照]をクリックして、USBストレージがセットされているドライブを選択します。選択後、[OK]をクリックします。

シナリオの再生順や繰り返し再生の設定をするときは、[自動再生する。(オートラン設定)]をチェックします。

自動再生は変換後でも設定できます。

- ☛ 「シナリオを自動再生する」 p.12



選択した場所にシナリオがコピーされます。

9 自動再生を設定します。

- USBストレージにオートランファイルがない場合
繰り返し再生確認画面が表示されます。オートランファイルを作成し、オートランファイルの繰り返し再生設定をオンにする場合は、[はい]をクリックします。
- USBストレージにオートランファイルがある場合
以下を参照して自動再生を設定し、[OK]をクリックします。
☛ 「シナリオを自動再生する」 p.12



自動再生を設定したファイルが2つ以上あるときは、オートランファイルリストの上から順に再生されます。

10 コンピューターからUSBストレージを取り外します。

取り外す方法は、コンピューターの取扱説明書をご覧ください。

11 シナリオをコピーしたUSBストレージをプロジェクターにセットして、スライドショーまたはPC Freeで投写します。

スライドショーまたはPC Freeの使い方について詳しくは、お使いのプロジェクターに同梱の取扱説明書をご覧ください。

PowerPointファイルから直接シナリオへ変換する

PowerPointファイルから直接シナリオへ変換する方法を説明します。



設定内容を変更せずに変換だけをしたい場合に適しています。設定画面の設定内容が変換時に反映されますので、[ファイルを変換後、メモリーにコピーする]を選択していない場合は、あらかじめ設定内容をご確認ください。

1 PowerPointファイルをデスクトップ上のEasyMP Slide Converterのアイコン上へドラッグ&ドロップします。

または、PowerPointファイルを右クリックして、[FSEへ変換する]を選択します。

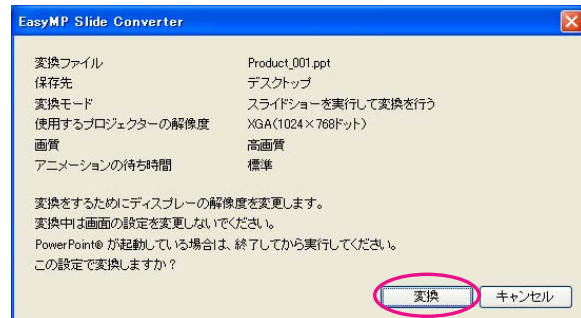
複数のPowerPointファイルを同時にシナリオに変換することはできません。目的のファイルを1つだけ選択します。

2 ファイルを変換します。

- [ファイルを変換後、メモリーにコピーする]を選択している場合
設定画面が表示されます。
設定項目について詳しくは、以下をご覧ください。
☛ 「変換設定を変更する」 p.13

- [ファイルを変換後、メモリーにコピーする]を選択していない場合

実行確認画面が表示されます。[変換]をクリックします。



シナリオへの変換が始まります。変換モードで[スライドショーを実行して変換を行う]を選択しているときは、スライドショーが表示されます。

3 変換結果をプレビューし、USBストレージにコピーします。

- [ファイルを変換後、メモリーにコピーする]を選択している場合

☛ [「シナリオに変換する」](#)の手順6以降に従ってください。

- [ファイルを変換後、メモリーにコピーする]を選択していない場合

変換が終わるとメイン画面が表示されます。

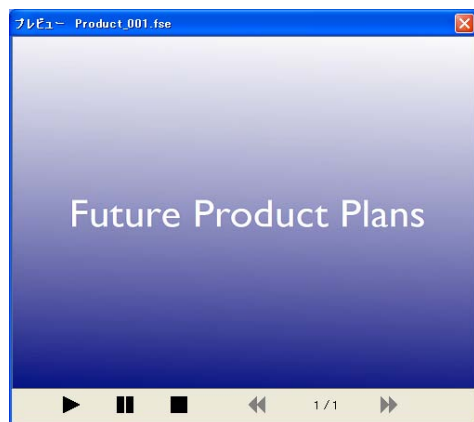
続いて、シナリオのプレビュー、メモリーへコピー、オートラン設定などをしてください。






☛ [「メイン画面の説明」](#) p.7

シナリオをプレビューする

変換後のシナリオをプレビュー画面で確認できます。プレビュー画面を表示するには、メイン画面の[プレビュー]ボタンをクリックします。

プレビュー画面の各ボタンの機能は、以下をご覧ください。



 再生	プレビューを開始します。また、停止または一時停止しているシナリオを再開します。PowerPointファイルのアニメーションが自動的に再生されないときは、[再生]ボタンを押すとアニメーションを1つ先に進めることができます。
 一時停止	プレビューを一時停止します。
 停止	再生を中止し、先頭のスライドに戻ります。
 前のスライド	現在表示しているスライドの1つ前のスライドに戻ります。
 次のスライド	現在表示しているスライドの1つ先のスライドに進みます。

USBストレージにコピーする

変換したシナリオをUSBストレージにコピーする方法を説明します。

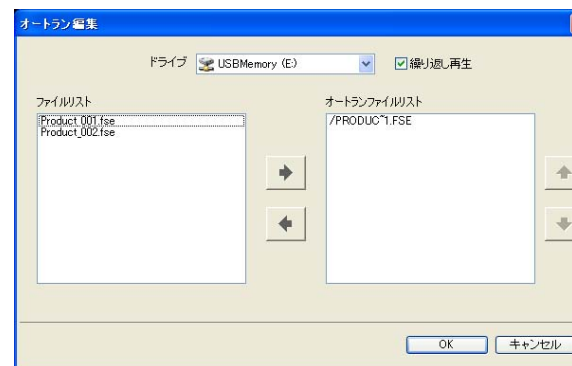
- 1** USBストレージをコンピューターに接続します。
- 2** EasyMP Slide Converterを起動します。
- 3** [メモリーへコピー]ボタンをクリックします。
- 4** 画面の指示に従って、シナリオをコピーします。

シナリオを自動再生する

複数のシナリオを指定した順番で自動的に再生したり、繰り返し再生したりといったオートラン設定ができます。






メイン画面の[オートラン編集]ボタンをクリックすると、オートラン編集画面が表示されます。

以下の表を参照して、設定するファイルを選択します。



ドライブ

オートランファイルを編集するドライブを選択します。

繰り返し再生 	オートランファイルリストに登録したシナリオの投写終了後、自動的に最初から投写し直すときは、[繰り返し再生]にチェックマークを付けます。
ファイルリスト	ドライブ内にあるオートラン設定をしていないシナリオの一覧を表示します。
オートランファイルリスト	オートラン設定をしているシナリオの一覧を再生順で表示します。   ボタンをクリックして再生順を入れ替えることもできます。
 	シナリオをオートランファイルに登録したり、削除したりします。

変換設定を変更する

メイン画面の[設定]ボタンをクリックすると、設定画面が表示されま

ず。
設定項目について詳しくは、以下をご覧ください。



ファイル名	シナリオに変換するPowerPointのファイル名が表示されます。
保存先	シナリオの保存先を選択します。
変換モード	<p>PowerPointファイルの変換方法を選択します。</p> <ul style="list-style-type: none"> • [スライドショーを実行して変換を行う] 変換中にスライドショーが表示され、スライドショーを確認しながら変換できます。変換中は他のアプリケーションの操作はできません。ファイルは、FSE形式で保存されます。 • [スライドショーを実行せずに変換を行う] 変換中にスライドショーは表示されません。設定されているスライドの画面切り替え効果は変換されません。ファイルは、FSE形式で保存されます。 • [簡易変換を行う] JPEGファイルに変換します。PowerPointファイルで設定したアニメーション効果は保持されません。ファイルは、SIT形式で保存されます。

使用するプロジェクターの解像度	シナリオを投写するプロジェクターの解像度を選択します。XGAタイプのプロジェクターでは、WXGA(1280×800ドット)が設定されたシナリオを再生できません。
ファイルを変換後、メモリーにコピーする	手順を追って変換したいときにチェックマークを付けます。チェックマークを付けると、ファイルを変換するたびに設定画面が表示されます。
詳細設定	詳細設定の表示・非表示を切り替えます。
既定値に戻す	変更した設定を初期値に戻します。[OK]をクリックすると設定が保存されます。
バージョン情報	アプリケーションのバージョン情報を表示します。

以下は詳細設定の項目です。

画質	変換するファイルの画質を設定します。 [標準]に設定すると、高画質と比べてファイルサイズが小さくなりますが、画質が粗くなります。[高画質]を選択することをお勧めします。 変換モードで[簡易変換を行う]を選択したときは、画質を設定できません。
アニメーションの待ち時間	変換するファイルのアニメーションの再現性(待ち時間)を設定します。 タイマーや繰り返しが設定されているアニメーションは正常に変換できない場合があります。アニメーションが正しく変換できないときは、待ち時間を長く設定すると、再現性が高くなります。 変換モードで[簡易変換を行う]を選択したときは、待ち時間を設定できません。



付録

アンインストールを開始する前に次の点にご留意ください。

- EasyMP Slide Converterをアンインストールするには、管理者権限が必要です。
- 起動中のアプリケーションをすべて終了してからアンインストールを行ってください。

Windows 2000の場合

- 1 [スタート] - [設定] - [コントロールパネル]の順にクリックします。
- 2 [アプリケーションの追加と削除]をダブルクリックします。
- 3 [プログラムの変更と削除]をクリックします。
- 4 EasyMP Slide Converterを選択して、[変更/削除]をクリックします。

Windows XPの場合

- 1 [スタート] - [コントロールパネル]の順にクリックします。
- 2 [プログラムの追加と削除]をダブルクリックします。
- 3 EasyMP Slide Converterを選択して、[削除]をクリックします。

Windows Vista/Windows 7の場合

- 1 [スタート] - [コントロールパネル]の順にクリックします。
- 2 [プログラム]の[プログラムのアンインストール]をクリックします。

- 3 EasyMP Slide Converterを選択して、[アンインストール]をクリックします。

EasyMP Slide Converterをご使用になる際は、以下の制限事項があります。

OSによる制限

- Windows XP Service Pack 2をお使いの場合、デスクトップ上のPowerPointファイルを選択するとプログラムが突然終了することがあります。この問題を解消するにはWindows XP Service Pack 3にアップデートするか、お問い合わせ先に記載の連絡先にご相談ください。
☛ [『お問い合わせ先』](#)
- Windows 2000では、変換モードの[スライドショーを実行せずに変換を行う]は選択できません。
- Windows タスク マネージャなど常に手前に表示されるウィンドウが表示されているときは、先にウィンドウを閉じてから変換を行ってください。

PowerPointによる制限

- PowerPoint2007 Service Pack 1をお使いで簡易変換を行ったときに、変換後の画像の一部が黒く表示されます。この問題はPowerPoint2007 Service Pack 2にアップデートしていただくと解消されます。
- PowerPointで設定した繰り返し再生の効果は変換されません。ファイルを繰り返し再生する場合は、EasyMP Slide Converterで[繰り返し再生]の設定を行ってください。
☛ [「PowerPointファイルの変換」 p.7](#)
- 画面の切り替えやアニメーションの開始が自動で行われるように設定されたPowerPointファイルを変換した場合、変換後のファイルが正しく表示されない、または正しく動作しないことがあります。

- PowerPoint2002またはPowerPoint2003では、変換したときにスライドショーのオブジェクトが正しく表示されなかったり、画面の一部が黒くなったりすることがあります。
- お使いのコンピューターのOSがWindows Vista/Windows 7のときは、PowerPoint2002はサポートされません。
- PowerPointファイル内の音声や動画、PowerPoint Game のようなアニメーションなどは変換できません。

解像度による制限

- お使いのコンピューターの解像度に1280×800または1280×768の設定が無く、[スライドショーを実行して変換を行う]を選択したときは、WXGAの設定は行えません。

その他の制限

- 変換モードにかかわらず、1枚目のスライドに設定された画面切り替え効果は変換できません。
- [スライドショーを実行せずに変換を行う]を選択した場合、画面の切り替え効果は変換できません。
- DirectXの一部の機能を使っているアプリケーションは、正しく表示できない場合があります。

EasyMP Slide Converter実行時のエラーメッセージ

エラーメッセージ	対処法
ご使用のOSのバージョンでは使用できません。必要なバージョンアップを行なってください。	ご使用のOSにはEasyMP Slide Converterをインストールできません。サポートしているOSにインストールしてください。 ☛「ソフトウェアの動作条件」 p.5
EasyMP Slide Converterを使用するには PowerPoint® 2002以降がインストールされている必要があります。	PowerPoint 2002以降をインストールしてから、EasyMP Slide Converterを再インストールしてください。 ☛「ソフトウェアのインストール」 p.5
PowerPoint® を終了してから実行してください。	PowerPointを起動していると変換処理が正常に完了しないことがあります。PowerPointを終了してから、変換してください。
指定された場所にファイルを保存することができません。別の場所を指定して再度実行してください。	指定されたフォルダーの書き込み権限が無いなどの理由でファイルを保存できない場合があります。別の場所を指定して再度実行してください。
指定された場所にファイルをコピーできませんでした。別の場所を指定して再度実行してください。	
指定された場所の空き容量が不足しています。別の場所を指定して再度実行してください。	ファイルを保存するドライブの空き容量が不足しており、ファイルを保存できません。不要なファイルを削除して、ファイルを保存できるようにドライブの空き容量を確保してください。
指定されたドライブの空き容量が不足しているためコピーできません。	シナリオコピー先ドライブの空き容量が不足しており、シナリオをコピーできません。不要なファイルを削除して、シナリオファイルをコピーできるようにコピー先ドライブの空き容量を確保してください。
指定された場所の空き容量が不足しているためファイルを書き出すことができません。	オートラン設定時のファイルの指定先の空き容量が不足しているため、ファイルを書き出すことができません。不要なファイルを削除して、ファイルを書き出せるように空き容量を確保してください。

EasyMP Slide Converterに関するトラブル

PowerPointファイルの右クリックメニューに[FSEへ変換する]が表示されない

確認	対処法
EasyMP Slide Converterのインストール後にPowerPointをインストールしませんでしたか？	EasyMP Slide Converterのインストール後にPowerPointをインストールすると、メニューが表示されなくなることがあります。EasyMP Slide Converterを再インストールしてください。

シナリオに変換できない

確認	対処法
PowerPointが起動していませんか？	変換前に、PowerPointを終了してください。また、変換中にPowerPointを起動しないでください。
PowerPointファイルのスライド表示設定にスライド指定、または目的別スライドショーを設定していませんか？	スライド表示の設定にスライド指定、または目的別スライドショーを設定すると、変換できません。スライド表示をすべてに設定してください。

シナリオが再生できない

確認	対処法
プロジェクターの解像度は正しいですか？	シナリオを投写するプロジェクターの解像度がXGAタイプのときは、WXGA(1280×800ドット)が設定されたシナリオを再生できません。PowerPointファイルをXGA(1024×768ドット)用シナリオファイルに変換してから投写してください。

ご注意

- (1) 本書の内容の一部、または全部を無断で転載することは固くお断りいたします。
- (2) 本書の内容については、将来予告なしに変更することがあります。
- (3) 本書の内容については万全を期して作成いたしました。万が一不審な点や誤り、お気づきの点がございましたら、ご連絡くださいますようお願いいたします。
- (4) 運用した結果の影響につきましては、(3)項にかかわらず責任を負いかねますのでご了承ください。
- (5) 本製品がお客様により不適當に使用されたり、本書の内容に従わずに取り扱われたり、またはエプソンおよびエプソン指定の者(「お問い合わせ先」参照)以外の第三者により、修理、変更されたこと等に起因して生じた損害等につきましては、責任を負いかねますのでご了承ください。
- (6) エプソン純正品、およびエプソン品質認定品以外のオプション品または消耗品、交換部品を装着してトラブルが発生した場合には、責任を負いかねますのでご了承ください。
- (7) 本書中のイラストや画面図は実際と異なる場合があります。

表記について

Microsoft® Windows® 2000 operating system

Microsoft® Windows® XP Professional operating system

Microsoft® Windows® XP Home Edition operating system

Microsoft® Windows Vista® operating system

Microsoft® Windows® 7 operating system

本書中では、上記各オペレーティングシステムをそれぞれ、「Windows 2000」、「Windows XP」、「Windows Vista」、「Windows 7」と表記しています。また、Windows 2000、Windows XP、Windows Vista、Windows 7を総称する場合はWindows、複数のWindowsを併記する場合はWindows 2000/XP/Vistaのように、Windowsの表記を省略することがあります。

商標について

IBM、DOS/V、XGAは、International Business Machines Corp.の商標または登録商標です。

Microsoft、Windows、Windows NT、Windows Vista、Windows 7、PowerPoint、Windows ロゴは米国マイクロソフトコーポレーションの米国及びその他の国における商標または登録商標です。

なお、各社の商標および製品商標に対しては特に注記のない場合でも、これを十分尊重いたします。

ソフトウェアの著作権について

本装置は当社が権利を有するソフトウェアの他にフリーソフトウェアを利用しています。

©SEIKO EPSON CORPORATION 2010. All rights reserved.

411909900JA

数字・アルファベット

FSEへ変換する 10

プレビュー 7, 9, 12
変換モード 13
保存先 13**ア**アニメーションの待ち時間 14
アンインストール 16
インストール 5
オートランファイルリスト 13
オートラン編集 7, 12**マ**メイン画面 7
メモリーへコピー 12**カ**画質 14
繰り返し再生 13
コピー先選択 9
困ったときに 18**サ**自動再生 7, 12
シナリオ変換 8, 10
詳細設定 14
使用するプロジェクターの解像度 14
設定画面 13**タ**

ドライブ 12

ハファイル形式 4
ファイルリスト 13
ファイルを変換後、メモリーにコピーする 14